

## 地域の問題

### (1) 学校選択制による今後について

鳩ヶ谷市との合併を機に学校選択制は現在の鳩ヶ谷市の市域についても同様に考えられるとのことでした。

神根小学校、神根東小学校は児童数が少ない傾向にあるようですが、何とか一定数を保っているのは幾つかあるマンションの居住者によるものとも伺っております。そこで伺います。全校児童に占めるマンション居住者の割合は把握していますか。

また、合併後は通学距離を考えるとこれらのマンションに居住する子どもたちは桜町小学校や里小学校のほうが近く、神根小学校、神根東小学校の児童数は減少すると思われる。

本議会において芝東小学校の統廃合が条例として検討されているところでありますが、伝統ある小学校が寂れていくことや、ましてや廃校になることは地域住民にとって大変残念なことです。このような合併により予測される児童数減少に対して、本市ではどのようにお考えでしょうか。

### (2) 石神西立野特定土地区画整理事業の進捗について

石神西立野特定土地区画整理事業は、平成6年に事業が始まり、平成9年頃から着手しておりますが、当初終了見込みの平成25年が近づいた昨年末に事業計画の変更がなされ、平成35年まで延伸されました。

区画整理地内に住む住民は、事業が進まない状況に合わせて建物の老朽化が進む一方、新築すること、不動産を売却することにも制限を受け、また修理もおぼつかない状況です。そこで、ある地域の住民は、早期に事業が進捗するようにと移転に関する署名を集め提出したところでございます。

そこで、今後の取り組みについてどのようにお考えなのか伺いいたします。

### (3) 神根地区の下水道整備状況について

川口自由民主党市議団政策集「市民（あなた）への約束」の中でもうたわれておりますが、新郷、安行、神根、芝において下水道普及率4年間で8パーセントアップを目指しています。震災の影響で国庫補助金も削減されていると伺っておりますが、この目標を達成するためには年間どの程度の事業費が必要でしょうか。

### (4) 神根運動場付近の整備状況について

神根運動場は、かつて国体の用地として大規模な運動設備を整備すると用地買収が行われてきました。しかし、財政難から費用縮減のため青木町公園の整備による開催に変更したことで運動場の計画は頓挫し、それ以来、土地が十分に投資を注がれることなく不十分な整備のままです。

1点目として、現在神根運動場の中で市が管理している場所はどこでしょうか。

2点目として、市が管理し、多くの市民が利用している神根運動場に浄化槽を設けた水洗トイレなどが十分に整備されていない状況ですが、今後の整備計画について、市として

どのような考えをお持ちかお示してください。

(5) (仮称) 赤山歴史自然公園等計画について

先日いよいよ住民説明会が行われ、都市計画決定に向けて動き出したようです。今後の予定についてお伺いいたします。

新海今朝巳学校教育部長 御答弁申し上げます。

(1)の1点目でございます。神根小学校、神根東小学校の学区内で鳩ヶ谷市との境界に立地する10階建て以上の共同住宅から両校に通学する児童の割合につきましては、全校児童数に対し、神根小学校が約26パーセント、神根東小学校が約5パーセントとなっているところでございます。

続きまして、2点目でございます。神根地区の小学校児童数につきましては、鳩ヶ谷市との合併に伴い隣接する学校も増加し、今後の学校選択の状況によりましては児童数の減少が懸念されるところでございます。教育委員会といたしましては、今後の学校選択の動向を注視しつつ、学校応援団の充実を図るなど、今後も学校、保護者、地域が一体となった特色ある学校づくりを推進する取り組みを積極的に支援して参りたいと存じます。

以上であります。

境沢孝弘都市整備部長 御答弁申し上げます。

(2) 石神西立野特定土地区画整理事業の進捗についてでございますが、当事業区は、施行面積はもとより起伏が激しいことに加え、住宅開発に伴い著しくスプロール化が進み、事業進捗においても影響のある地区でございます。

また、御指摘の地域はすべての建物が移転対象となっており、移転棟数も多く、順次移転が必要となる状況でございます。

今後は、集団移転等の手法を視野に入れた効率的な造成計画及び移転計画を策定し、関係権利者への理解を得ながら早期移転に努めて参りますので、御理解賜りたいと存じます。

以上でございます。

伊藤幸宏下水道部長 御答弁申し上げます。

同じく(3)の神根地区においての下水道普及率を4年間で8パーセントアップを目指すには年間どの程度の予算が必要かとお尋ねでございますけれども、神根地区の平成22年度末下水道処理人口普及率は44.2パーセントでございます。平成23年度は約1.5パーセント普及率の伸びを見込んでおり、事業費は約3億7,000万円でございます。このことから、下水道処理人口普及率の目標を達成するためには、年間5億円程度の予算が必要でございます。

今後とも国庫補助金等の財源確保を図るとともに、種々方策を検討し、効果的な整備に努めて参りたいと存じます。

以上でございます。

江連保明教育総務部長 御答弁申し上げます。

(4)の1点目でございますが、神根運動場内の条例で管理しております施設といたしまし

ては、野球場及び競技場AからCの4施設がございます。施設の詳細といたしましては、野球場は4面、競技場Aはサッカー場兼ラグビー場、競技場Bは少年サッカー場、競技場Cはターゲットバードゴルフ場と、全施設子どもから大人まで幅広く御利用いただいております。

同じく2点目でございますが、神根運動場につきましては現在休止中である埼玉県防災公園計画の区域に含まれておりますが、グラウンドスポーツの拠点施設として整備を進めているところでございます。

水洗トイレ等の改修につきましては、市民の健康増進や憩いの場となるよう全体の整備の中で検討して参りたいと存じます。

以上でございます。

高木直人技監兼都市計画部長 御答弁申し上げます。

(5)の(仮称)赤山歴史自然公園等の計画についてでございますが、去る8月28日並びに8月30日に(仮称)赤山歴史自然公園及び(仮称)川口市火葬施設の都市計画案について、地元地権者並びに関係5町会の皆様を対象とした地元説明会を開催させていただいたところでございます。

今後の予定といたしましては、地元説明会でいただきました御意見等を踏まえ、全市民を対象とした公聴会を開催し、県の事前協議を経て都市計画法第17条に基づく縦覧を行なった上で川口市都市計画審議会に諮問し、本年度中の都市計画決定を目指して取り組んで参りたいと存じます。

以上でございます。

神根運動場の整備状況についてですが、埼玉の防災公園計画でなかなかいい整備ができなかったように思います。これからは川口のものですから、しっかり整備していただきたいなと思います。

赤山の公園計画、期待しておりますので、どうか実現するように市長ともども頑張ってやっていただきたいと思います。

きょうは長い質問をいたしました。ありがとうございました。(拍手起こる)